

ヒトパピローマウイルス感染症（子宮頸がん）

★病気の説明

ヒトパピローマウイルス（HPV）は誰でも感染する可能性があるウイルスで、主に性行為によって感染します。感染してもほとんどの場合は自然に排除されますが、ウイルスが排除されずに長期間感染が続く場合、5～10年以上の年月を経て子宮頸がんを発症することがあります。HPVは、子宮頸がんのほかにも、外陰がん、膣がん、肛門がん、尖圭コンジローマ（性器や肛門周辺にできる鶏冠状のイボ）などの病気もひきおこします。子宮頸がんは検診で早期発見、早期治療が可能ながんですが、治療によって妊娠や出産ができなくなる可能性があります。

★ワクチンの種類

ワクチンは3種類あります。価数はワクチンで防止するウイルスの種類の数を表しています。

- ・ 2価：サーバリックス
- ・ 4価：ガーダシル
- ・ 9価：シルガード

★予防接種の受け方

<定期接種>

- ・ 接種対象年齢：小学6年生から高校1年生相当年齢の女子
（標準的な接種年齢：中学1年生）
- ・ 接種する回数と間隔 ※9価：シルガードの場合

	標準的な接種期間	接種回数
初回接種が15歳未満	6か月あけて2回接種	2回接種
初回接種が15歳以上	2か月あけて2回目接種、1回目接種から6か月あけて3回目接種	3回接種

<キャッチアップ接種の期間延長>

子宮頸がんワクチンのキャッチアップ接種は、令和7年3月末で終了予定でしたが、昨夏以降の大幅な需要増により、接種を希望しても受けられなかった方がいる状況を踏まえ、条件付きで1年間延長されることになりました。

キャッチアップ期間延長対象者

平成9年4月2日から平成21年4月1日生まれの女性で、令和4年度から令和6年度までに1回または2回接種を済ませた方

⇒残りの接種を令和8年3月31日まで無料で接種することができます。

出典（病気の説明）：よぼうせっしゅのはなし(2024年)抜粋 日本ワクチン産業協会

